

目次 Contents

03 特集 ■ 私たちの新リーダー  
**多田一彦市長**

10 市職員特別職の紹介  
新型コロナウイルス インフォメーション  
**Information.**

12 行政区 消防団 **来年4月1日 再編**

16 民生委員・児童委員の仕事紹介

18 総合カレンダー

20 学びのいずみ

22 インフォメーション

24 市からのお知らせ  
遠野の10大ニュース大募集/除雪にご協力を/市職員追加募集/清養園保養センター12月で営業終了 ほか

28 キラッと、遠野人。  
秋の叙勲、各種表彰 ほか

30 遠野史歴訪  
**キラリ! 地域おこし協力隊**

32 まちの話題  
遠野高校創立120周年/第48回乗用馬市場/教えて! SDGs ほか

34 みんなの広場

36 青春のトーク ほか

今月の表紙 Cover Story

「認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園」の3～5歳児のみなさんです。クリスマス会に向け、劇や歌の練習をしていました。同園は今年、創立100周年を迎えています。



とおの  
**ジョブTono**  
市内企業紹介



No.09

**(株)遠野牧場**

代表取締役 松本光治 従業員数/12人(男性8人、女性4人)  
所在地/附馬牛町東禅寺7-95-3 問い合わせ/☎64-2452

(株)遠野牧場では約2,300頭の肉用牛を育てています。繁殖も肥育も行う一貫経営が中心です。遠野生まれ遠野育ちの黒毛和牛にこだわっており、餌も遠野産の飼料用米を使用。畜産物の安全性を管理するJGAPの認証を受け、責任感を持って飼育しています。

主な仕事は▷餌やり▷床替え▷牛の健康管理——など。作業は機械化が進み、一般的なイメージよりは楽になっていますが、牛の表情やしぐさから異変に気付くのは経験が必要です。出荷までの約30カ月育て上げるのは苦勞もあります。飼育の方法論もどんどん変わり、完璧はありません。だからこそ追求するおもしろさを感じられますし、育てた牛が評価された時の達成感はひとしおです。



話/取締役場長 佐々木学さん

※とびあ1階に市内企業の雇用PRコーナーを開設しています

各種統計 Statistics

市の人口(10月末現在)  
男性:12,387人(-10)  
女性:13,236人(-15)  
合計:25,623人(-25)  
高齢化率:40.9%(±0)  
世帯数:10,706世帯(+10)  
※( )内は前月比

交通事故発生件数(10月中)  
物損31件 人身1件 死者0人

救急車出動回数(10月中) 98件

火災発生件数(10月中)  
建物・車両・林野・その他0件

広報広聴 Public Relations

**ホームページのご案内**  
情報満載の市ホームページでは、広報遠野の最新号やバックナンバーもご覧いただけます。

**市政なんでも相談箱のご案内**  
市への意見・提言、広報遠野への感想などは、主要施設に設置している「市政なんでも相談箱」(下図)への投書か市ホームページの「お問い合わせ」を活用してお寄せください。



特集 ■ 私たちの新リーダー

**多田一彦市長**

本年10月23日、

第2代遠野市長に就任した多田一彦市長。

新リーダーのもと、

新たな遠野市政が始まっています。

多田市長が市議会12月定例会で行った

所信表明演述の要旨と、

多田市長に聞いた趣味や夢などを紹介します。





遠野市長所信表明演述(要旨)

# まちづくりの主役は、 市民一人一人

令和3年12月市議会定例会での  
多田市長の意気込みを、要約して紹介します。

## 新しい時代への挑戦

**こ**の度の選挙で市内各所に足を運び、市民の皆さまと対話を重ねました。多くの方々が「ふるさと遠野」を大切に、そして誇りに思っていることを改めて強く感じ、うれしく思いました。一方で、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、市民にはやりきれない思いと閉塞感も漂っていました。このような状況の中、市民の皆さまの負託を受け、第2代遠野市長として遠野市政を担わせていただくこととなりました。

**市** 政への思いを強くした転機は、あの東日本大震災



でした(写真①)。多くの仲間と共に「NPO法人遠野まごころネット」を結成。被災地支援とボランティア受け入れに奔走していた時、損得なしに動く遠野市民の心の豊かさ、温かさに胸を打たれました。私の座右の銘「人生意気に感ず」が現実となっ

た光景を目の当たりにし、「市民一人一人の可能性を生かすリーダーとして、このまちをもっと良くしたい」と突き動かされました。遠野市が持つ底力と、この地を愛する市民一人一人の思いを一つにしていくことで、夢と希望の持てる遠野市に向け、道を切り開くことができると確信しています。個人の価値観や社会の構造が大きく変わりつつある中、私自身が先頭に立ち、新しい時代への挑戦を続けていきます。

## 市政運営の考え方

**第**2次遠野市総合計画の基本理念、「遠野スタイルの

生かすため、市民の皆さまと語り合う機会をできるだけ多く設けます。市民の皆さまの参画により政策の透明性を確保し、これまで以上に開かれた行政を目指します。

**市**の財政状況は、市税などの地方交付税などに依存する構造となっています。近年は、財政調整基金などの主要基金も減少しつつあります。第四次遠野市健全財政5カ年計画を着実に推進し、財源確保に努めます。

歳入の確保に向け、「ふるさと納税」をより一層募ることができよう、遠野の魅力の掘り起こしと効果的な情報発信に努めます。

**急**速に変化する社会情勢、ICTをはじめとする技術革新に対応するため、市役所の組織体制を、市民の皆さまに分かりやすく、機能的な体制に再構築します。世界は激動の時代を迎えています。既存のルールや仕組みでは対応しきれない事案の発生もあり得ることから、組織の枠組みを越え、柔軟に対応していくことも必要だと感じていきます。また、市職員

の能力を一層引き出すことができます。

る環境づくりを進め、若い職員が積極的にアイデアを企画・提案し、市の施策に反映できるような仕組みづくりを進めていきます。

## 「市民の命と暮らしを守る」選挙公約・5つのビジョン

### 【01】安心して暮らせるまち

**市**内全地区で「支え合う小さな拠点による地域づくり」の取り組みが始まっています。これをさらに進め、地域住民みんなが参画できる地域づくりの実現を目指し、地区センターの多機能拠点化を図るなど地域偏在の解消に努めます。

**人**口減少に対応する人材確保を図るため、行政区再編による地域組織の強化に取り組むとともに、現役世代が地域づくりに積極的に関われる仕組みづくりを進め、「地域力」を高める施策に取り組んでいきます。また、消防団の組織再編により、「防災力」も高まっていくものと考えます。消防団員の待遇改善を図りながら団員確保に努め、災害に強い地域づくりを推進します。

推進します。

創造・発展」を尊重し、その実現に向けた取り組みを推進して持続可能なまちづくりによる「永遠の日本のふるさと遠野」を目指します。

**少**子高齢化・人口減少が進む中、ポストコロナを見据えた新たな仕組みづくりを進める必要があります。しかし、行政だけの取り組みでは人的にも財政的にも限界があるため、思うように課題を解決することが困難なこともあります。そのため、市が抱える課題を市民の皆さまと共有し、対話を重ねながら新たな仕組みづくりを進め、官民が一体となって、遠野の資源を生かした施策を展開していくことが必要です。現場の声を

**既**存の公共交通体系にとらわれ、新交通システムの導入に向けた検討を進め、便利で利用しやすい地域公共交通システムを構築できるよう取り組んでいきます。

### 【02】市内で経済循環するまち

**市**の基幹産業・農林畜産業の活性化を図るため▽農業経営の見える化の推進▽高収益農家の拡大▽新規就農の促進▽グループ化・法人化による経営の多角化支援——に努めます。また、遠野農業の「担い手」となり得る「働き手」の確保に向け取り組んでいきます。

**林**業振興については、「遠野市ふるさと森条例」に基づき、▽市▽森林所有者▽林業・木材産業・建築関係の事業者——が相互に連携しながら、森林が持つ多面的機能の維持と遠野産材の利用促進などに取り組んでいきます。また、「遠野の家」のブランド化に向け、関係者と協議しながら、取り組みの強化を図ります。

**地**域産業の振興に向け、地元企業と対話を重ねなが

ら、ソフト系企業の誘致などにより、地元企業と連動した事業展開へとつなげるなど、市内経済が循環する仕組みづくりに取り組んでいきます。また、遠野東工業団地をはじめとした「ものづくり産業」の集積化に向け、県と連携した取り組みを推進していきます。

**コ** ロナ禍により、個人の価値観や社会の構造に変化が生じています。新たなニーズに応じた観光メニューの開発や、SNSなどを通じたグローバルな情報発信に努めます。

**遠** 野市は、「先導的共生社会ホストタウン」として「こころのバリアフリー」の実現に取り組みんでいます(写真②)。取り組みを子どもから大人まで広げるとともに、障がいのある方々が自らの可能性を広げられ

る学びの機会を創り出し、多様な意見を伺いながらユニバーサルデザインのまちづくりを推進していきます。

**福** 祉・介護の充実に努め、▽施設入所待機者の解消▽介護現場で働く人材の確保・育成▽人材を支える仕組みづくり——を同時に進めながら、福祉事業が産業として確立できるよう努めます。加えて、各地域に「まるごと相談員」を配置し、日常生活に不便を抱えている方々に寄り添った支援と相談支援機能の充実を図ります。

**市** 内には、世界に誇れる郷土芸能が数多くあります(写真③)。柳田國男先生(お)の『遠野物語』に代表される、民話・昔話などの民俗文化の宝庫でもあります。遠野の文化・風習を生かした遠野独自の教育、学びの



ます(写真④)。

**地** 球規模の環境問題である二酸化炭素の排出抑制に向けた取り組みの推進も必要です。自然や景観との調和・共存を視野に入れ、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入に向けた検討を進めていきます。民間事業者の乱開発などにより自然環境が損なわれ、災害の発生につながる事例が全国的に発生しています。開発行為に対する市独自の基準を設けることを検討します。

**市** 内で今なお続く、郷土芸能などの伝承活動は、地域のつながりを強め、絆を深めていくものです。伝承活動への支援を行い、地域の活性化に取り組んでいきます。また、遠野の風土で育まれた郷土食は、私たちの貴重な財産であり、遠野を訪れた方にとって何よりの魅力です。市民の「おもてなしのこころ」と共に引き継ぎ、魅力発信に努めます。

**5** つのビジョンは、遠野市総合計画の5つの大綱に繋がるもので、これまでのまちづくりを継続しつつ、さらに発展させていこうという内容です。

充実を図ります。子どもたちが遠野で生まれ育ったことを誇れるよう、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール」の導入に向けた支援など、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える教育環境の整備に取り組んでいきます。また、次世代の地域社会をリードし、グローバルに活躍できる人材育成を図るため、さまざまな国や地域の知識や技術を有する多様な人材を遠野に招き、多様な学びの機会が得られるよう努めます。さらに、スポーツの振興に取り組み、遠野からオリンピック選手を輩出できるように、指導者の育成や競技環境の充実を図ります。

**安** 心安全な周産期医療の充実に向け、産婦人科や小児科の医師の招聘を継続します。また、母子の体と心の健康を守る産前産後サポートと産後ケアの充実に取り組んでいきます。特に、出産前の妊婦の負担を軽減できるよう、産院の近くで待機・宿泊できる新しい仕組みを構築します。また、保育所などにおける子育て支援の充実と職員の負担軽減に向けた懇談の場を設けます。

**市** 長を務めるうえで大切にしたい言葉があります。それは「温故知新」。「古きをたずねて、新しきを知る」とも読まれます。過去を調べ、学び、そこで得られた知見を生かし、新たな知識を得て、実践につなげるということです。市内には、各地域で培われ、引き継がれてきた、地域づくりの原点でもある「地域資源」があります。地域の可能性を引き出し、さらに磨きをかけ、古くて新しいまちづくりの原動力につなげることで、懐かしさを覚える「宿場町」のような賑わいを各地域に創り出したいと考えています。

**ま** ちづくりの取り組みは、市民一人一人であることです。そして、市民の皆さまと対話を重ね、課題を抽出し、市民の思いを受け止め、魅力あるまちをつくっていくことが市長の責務だと考えています。

**ま** ちづくりの取り組みは、市民一人一人が市政に参画できるまちを目指します。

**ま** ちづくりの取り組みは、市民一人一人が市政に参画できるまちを目指します。

**平** 成17年10月に新遠野市が誕生しました。以来、16年にわたって遠野市政を率いて来られた本田前市長が現在の市の礎を築き上げるとともに、市総合計画の基本理念「遠



**世** 界的建築家・安藤忠雄先生からご提案・ご協力いただき、「こども本森 遠野」がオープンしました(写真⑤)。子どもたちが本に親しむことで、夢を育み、未来への可能性を広げる場所です。次の時代を担う子どもたちが、本の森で多くの夢を描くことができるよう、適切な運営と多様な学びの創出に努めます。

**遠** 野の貴重な財産である自然や景観、郷土芸能や郷土食などの文化・風習を大切に、次の世代に引き継いでいき



目標「SDGs」の理念と通じるものです。まちづくりの取り組みを通じ、世界の大きな目標の達成につなげていきます。

**先** に述べた、私の座右の銘「人は、相手の志や思いの深さに感じて仕事を」という意味です。この初心を忘れることなく、これからの市政運営にあたっては、「市民の皆さまと明るく楽しく、夢のある遠野を目指して」私と市職員が一丸となり、常に挑戦する気概を持ち続け、開拓精神で未来を切り開きます。

所信表明の全文は市ホームページに掲載しています。



Off 休みの日



●プロフィール 昭和33(1958)年7月生まれ。63歳。遠野小・遠野中・遠野高を経て、昭和56(1981)年青山学院大法学部卒。遠野高サッカー部時代にはウイングとして活躍。全国大会で2ゴール3アシストを記録した。現在も市内サッカーチームに所属し仲間と汗を流す。母、妻と早瀬町の自宅で3人暮らし。毎朝約1時間半の散歩が日課。

## みんなの井戸端会議

市民の皆さんが市長と話をする「みんなの井戸端会議」を開催します。当日は、市長の市政運営などに対する思いを伝えます。また、市民の皆さんから地域課題などへの思い・考えをお聞きます。ぜひ、会場にお越しください。

- 日程 12月中、市内11地区にて(右表)
  - 問い合わせ 市政担当(☎62-2111内線218)
- 申込不要



「市民と市長の対話の場」開催します

開催日	会場	時間
12月12日(日)	あえりあ遠野交流ホール	10時～11時半
13日(月)	小友地区センター	18時半～20時
14日(火)	青笹地区センター	
16日(木)	宮守総合支所	
17日(金)	達曽部地区センター	
18日(土)	老人憩いの家(鱒沢)	
19日(日)	上郷地区センター	
20日(月)	松崎地区センター	
21日(火)	綾織地区センター	
22日(水)	土淵小学校体育館	
23日(木)	附馬牛地区センター	

## 多田市長に聞く 20の質問 私が

- ニックネーム(呼び名)  
カズ(さん)、カズヒコ(さん)と呼ばれています
- 自己分析すると?  
繊細ですが、明るく、前向きです
- 趣味・休日の過ごし方  
登山、バックカントリー、サイクリング  
じっとしてられません
- 特技  
サッカー、スキー、サーフィン、スキューバダイビング
- 学生時代に熱中したこと  
本を読みあさっていました
- 尊敬する人  
父です
- 宝物  
父のゴールド運転免許証、妻

## 遠野市長 多田一彦です

- 子どもの頃の夢  
プロ野球選手です
- 子どもの頃はどんな子?  
朝起きて寝るまで、遊びまわっていました  
鍋倉山の隅々まで遊んで歩きました
- 初めて買ったレコード  
「帰って来たヨッパライ」(ザ・フォーク・クルセダーズ)
- 好きな歌  
青空(ザ・ブルー・ハーツ)、男たちの大和(長渕剛)
- 好きな食べ物  
松茸のひつつみとナスの生姜の浅漬け
- 好きな色  
ブルーとオレンジ
- リフレッシュ方法  
キャンプ、運動、アウトドアライフが一番です
- 今、熱中していること  
遠野市政  
ずっと前から熱中してました
- 遠野の好きなところ  
文句なしで全部  
何だか分からないけど、毎日が綺麗です
- 市長就任後、感じていること  
みんないい人だな～
- 市長を務める活力の源は?  
「遠野愛」と「人間愛」
- 現在の夢  
世界一幸せなまちをつくる
- 最後に、市民の皆さんに一言!  
感謝の心を大切にして、  
今日も元気にいきましょう!

